

## 情報公開用文書(藤沢市民病院で実施する医学系研究)

2020年10月20日作成

■研究課題名	閉塞性大腸癌症例における術前大腸ステントを用いた治療に関する検討
■研究の対象	当院で閉塞性大腸癌の診断で、術前にイレウス管もしくは大腸ステントで腸管減圧を行った後、手術を施行された方が対象となります。
■研究目的・方法	<p><b>【目的】</b> 閉塞性大腸癌(OCC)に対するBridge to surgeryとしての大腸ステント治療の有用性、安全性に関しては一定の見解が得られていません。当院の治療方針として、OCCに対し大腸ステント留置により腸管減圧を行い、外来精査を経た後の待機的手術を第一選択としており、大腸ステント留置が出来ない場合には入院継続のまま、経鼻または経肛門イレウス管を留置し、減圧後に手術を施行しています。OCCに対する大腸ステントを用いた治療の妥当性を検討します。</p> <p><b>【方法】</b> 当院で閉塞性大腸癌の診断で術前にイレウス管もしくは大腸ステント治療を行った後、手術を施行された方に関して診療録から臨床情報を取得し、後方視的に検討します。</p>
■研究期間	倫理委員会承認日から 2023年 3月 31日
■研究に用いる 試料・情報の種類	「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」、「個人情報の保護に関する法律」に則り、年齢、性別、治療内容といった個人情報を含む診療録の情報を使用します。後方視的研究のため、対象者個人への直接的な利益は生じません。研究の成果は非閉塞性腸間膜虚血の治療法の進歩に有益となる可能性があります。
■試料・情報の 取得と保管方法	当院で、閉塞性大腸癌の診断で術前の腸管減圧を行った後、手術を施行された方の診療録から臨床情報を取得します。調査により得られた情報は研究対象者の秘密保護に十分配慮し、特定の個人を識別することができないよう、研究対象者に番号を付与します。本研究結果が公表される場合にも、研究対象者個人を特定できる情報を含まないこととします。
■外部への 試料・情報の提供	本研究で取得された情報を外部に提供することはありません。
<p>本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。 ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますので、下記連絡先まで電話またはFAXにてお申し出ください。 また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも、患者さんに不利益が生じることはございません。</p>	
<p>お問い合わせ先及び研究への利用を拒否する場合の連絡先:</p> <p>〒251-8550 藤沢市藤沢2丁目6番1号 藤沢市民病院 消化器外科 (研究責任者) 山岸 茂 電話番号:0466-25-3111(代表) FAX:0466-25-3545</p>	